

# 令和3年度 第2回 外国人防災リーダー養成講座



## ～外国人市民会議×災害時通訳ボランティア～

- 日時 2022年1月15日(土) 午前10時00分～午前12時00分
- 場所 豊橋市役所 西館4階 災害対策本部室
- 概要 「共助(互いに助け合うこと)・公助(市などの支援)」をテーマに、30分程度の防災講話を行った。その後、下2つのトピックについて、グループワークを行った。講座の最後には受講した方全員に修了書と防災リーダー証を交付し、終わりに地震の揺れを再現できる起震車に乗り、地震体験をした。
- 参加者 豊橋市外国人市民会議委員(外国人市民6名)  
災害通訳ボランティア(\*) (外国人市民4名、日本人市民8名)  
豊橋市国際交流協会  
豊橋市(多文化共生・国際課、防災危機管理課)



(\*) 災害が起こった際に言葉の面で外国人市民をサポートする、豊橋市国際交流協会登録のボランティア

時間	内容
10:00	防災についての話を聞く(市・防災危機管理課)
10:30	グループワーク ・災害時、どのような情報をどのように発信してほしいか ・ほっとメールの自動翻訳について
11:40	修了証・防災リーダー証 交付
12:00	起震車による地震体験



●グループワークでの意見

①災害時、どのような情報をどのように配信してほしいですか？

ほしい情報

- 避難場所
- 避難場所までの道路情報
- 近づいてはいけない危険な場所

配信方法

- SNS (Facebook,LINE,Instagram など)
- 豊橋防災ラジオ

気づいたこと

- ・ 国籍によって使う SNS が違う
- ・ 避難所に体調不良を伝えられるピクトグラムやイラストカードがあるといい
- ・ 豊橋防災ラジオも多言語かやさしい日本語で配信できるといい
- ・ 豊橋防災ラジオは豊橋市内の電気商業組合店で 1,500 円で購入できる！



②豊橋ほっとメールの自動翻訳について

改善点

こうするといい！

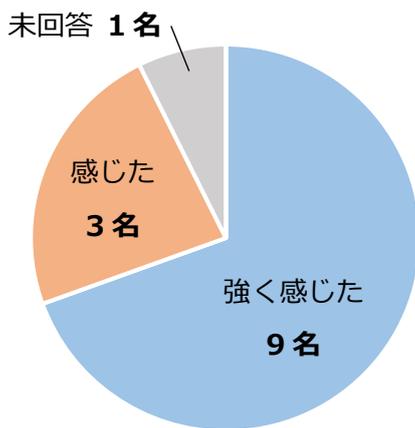
- 文章が長く分かりづらい → ■ 文章を短くする ■ 写真や絵をつける
- 文章を読んでも避難すべきかわからない → ■ 「逃げてください」とわかりやすい言葉にする



## ●アンケート結果

講座終了後に、受講者に向けてアンケートを実施しました。（アンケート提出者 13 名）

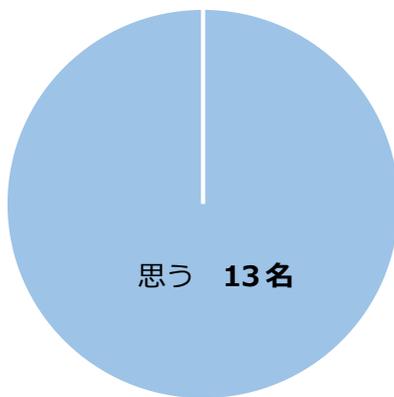
### 1. 今日の講座を聞いて、知人や友人に伝える重要性を感じましたか？



知人や友人へ伝えたいと思ったこと

- ・地震のない国の出身者にとって、スムーズに情報を得ることは大切であるということ。
- ・必要なものをそろえること。情報を正しく受け取ること。
- ・誰かに頼るのではなく、自分ができることをするという事。
- ・いろいろなツールで豊橋の情報が発信されているが、あまり知られていないと思うので、それを伝えていきたい。
- ・備蓄、家具の固定について。
- ・ベッドの配置について。

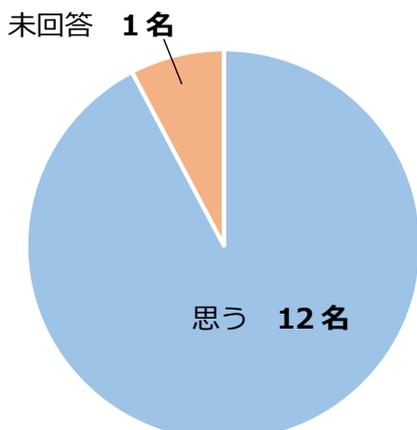
### 2. 今後もこのような講座を受講してみたいと思いますか？



今後もこのような講座を受講してみたいとおもいますか？

- ・更新された情報や、新しい防災技術などの講座
- ・各地域のひとが、自分たちの周りについて学べる講座
- ・やさしいにほんご講座

### 3. 今後さらに講座を受講し、防災リーダーとして地域の防災訓練に参加したいと思いますか？



感想や要望を自由に記入してください。

- ・自分もわからないことが多いので勉強をしたい。勉強したポイントを家族や友達に伝えていきたい。
- ・実際に災害が起きたときは慌ててしまうと思うので、もっと訓練が必要だと思った。
- ・災害を遠く感じてしまうので、気持ちを改めたい。
- ・支援をする側になりたい。常に新しい情報を伝えたい。
- ・みなさんといろいろな情報が交換できてよかった。